



MAGNIA

Linux サブスクリプションサービス 構成ガイド

2017 年 7 月

Rev. 02

東芝デジタルソリューションズ株式会社

もくじ

Linux サブスクリプションサービスとは.....	2
Linux サブスクリプションサービス 概略仕様.....	3
Linux サブスクリプションサービスのライセンス.....	4

- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- MAGNIA は東芝デジタルソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Red Hat、Red Hat Enterprise Linux は米国およびその他の国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。
- Linux(R)は米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。
- 本書に記載の会社名、製品名、サービス名は登録商標または商標として使用されている場合があります。また、記載のシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示((R)、TM)を付記していません。
- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱、操作に関する説明書をよくお読みください。

Linux サブスクリプションサービスとは

■Linux サブスクリプションサービスとは

Linux サブスクリプションサービスとは、Red Hat 社よりサポートを受けるためのサブスクリプション製品をお客様の代わりに購入するサービスです。

対象となる Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションは次の通りです。

製品名	内容	形番	税別価格
RHEL Server Standard(1年) (※2)	1ソケットペア(※1)または2つの仮想インスタンス用 サブスクリプション期間: 1年 サポート: 平日 9:00-17:00、EUS なし(※4)	ACS4129A	108,700 円
RHEL Server Premium(1年) (※2)	1ソケットペア(※1)または2つの仮想インスタンス用 サブスクリプション期間: 1年 サポート: 24時間365日、EUS あり(※4)	ACS4130A	176,700 円
RHEL for Virtual Datacenters Standard(1年) (※2)(※3)	1ソケットペア(※1)ごとに、無制限数の仮想インスタンス用 サブスクリプション期間: 1年 サポート: 平日 9:00-17:00、EUS なし(※4)	ACS4131A	339,800 円
RHEL for Virtual Datacenters Premium(1年) (※2)(※3)	1ソケットペア(※1)ごとに、無制限数の仮想インスタンス用 サブスクリプション期間: 1年 サポート: 24時間365日、EUS あり(※4)	ACS4132A	543,800 円
RHEL with Smart Virtualization Standard(1年) (※2)	1ソケットペア(※1)ごとに、無制限数の仮想インスタンス用 1ソケットペアごとの RHEV ハイパーバイザーのライセンスを含む。 サブスクリプション期間: 1年 サポート: 平日 9:00-17:00、EUS なし(※4)	ACS4133A	422,400 円
RHEL with Smart Virtualization Premium(1年) (※2)	1ソケットペア(※1)ごとに、無制限数の仮想インスタンス用 1ソケットペアごとの RHEV ハイパーバイザーのライセンスを含む。 サブスクリプション期間: 1年 サポート: 24時間365日、EUS あり(※4)	ACS4134A	552,400 円
RHEL Server Standard(5年) (※2)	1ソケットペア(※1)または2つの仮想インスタンス用 サブスクリプション期間: 5年 サポート: 平日 9:00-17:00、EUS なし(※4)	ACS4135A	516,400 円
RHEL Server Premium(5年) (※2)	1ソケットペア(※1)または2つの仮想インスタンス用 サブスクリプション期間: 5年 サポート: 24時間365日、EUS あり(※4)	ACS4136A	839,400 円
RHEL for Virtual Datacenters Standard(5年) (※2)(※3)	1ソケットペア(※1)ごとに、無制限数の仮想インスタンス用 サブスクリプション期間: 5年 サポート: 平日 9:00-17:00、EUS なし(※4)	ACS4137A	1,614,050 円
RHEL for Virtual Datacenters Premium(5年) (※2)(※3)	1ソケットペア(※1)ごとに、無制限数の仮想インスタンス用 サブスクリプション期間: 5年 サポート: 24時間365日、EUS あり(※4)	ACS4138A	2,583,350 円

※1 ソケットペアとは、最大2個の物理プロセッサ環境を示します。

※2 本製品はサブスクリプションのみの提供となります。そのため、本製品にはインストールメディアは付属していません。

インストールメディアは、ご購入されたサブスクリプションを Red Hat 社に登録したうえで、Red Hat カスタマポータルよりインストールメディア用の ISO ファイルをダウンロードして作成してください。

(ご参考) <https://access.redhat.com/downloads/>

Red Hat Enterprise Linux のサブスクリプションはバージョン(Red Hat Enterprise Linux 6/7)に依存しません。

※3 RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプションは、仮想化インスタンス用のみのライセンスになります。

物理環境のライセンスが必要な場合は、RHEL Server サブスクリプションを購入してください。

また、RHEL 製品に標準に含まれる KVM を使用し仮想環境を構築する場合、その上で使用できる仮想インスタンスは、4つまでとなります。4インスタンスを超える場合は、Red Hat Enterprise Virtualization のライセンスを提供している RHEL with Smart Virtualization を購入してください。

※4 EUS は、Extended Update Support になります。

EUS のないサポートでは、最新の Update に対してのみのサポートになります。特定のマイナーリリースに関するサポートを受ける場合には、EUS サポートのある Premium を購入してください。

常に Red Hat Enterprise Linux の最新の Update を適用する場合には必要ありません。

Linux サブスクリプションサービス 概略仕様

■Linux サブスクリプションサービス対象モデル

[MAGNIA Linux 動作確認情報]にて Red Hat 製品が動作確認済み(○印)となっている構成が対象となります。

[MAGNIA Linux 動作確認情報] URL:

<http://www.toshiba-sol.co.jp/pro/magnia/linux/>

MAGNIA シリーズの形番については、各機種の「システム構成ガイド」を参照してください。

注意

※MAGNIA シリーズにおける Linux 動作確認状況は[MAGNIA Linux 動作確認情報]にて最新情報を公開しています。本サービスをご購入される前に必ず、ご検討されている MAGNIA シリーズの Linux 動作確認状況を確認してください。対象となる MAGNIA シリーズと Linux パッケージの組み合わせにて、制限事項がある場合の対策などが掲載されています。

■インストールおよびその他注意事項について

MAGNIA シリーズへの Linux のインストール作業はお客様にて行っていただく必要があります。MAGNIA シリーズにおける Linux のインストール時の注意や制限事項など、Linux に関連する情報は、下記の[MAGNIA Linux 動作確認情報]にて公開しています。

[MAGNIA Linux 動作確認情報] URL:

<http://www.toshiba-sol.co.jp/pro/magnia/linux/>

注意

※ [MAGNIA Linux 動作確認情報]上で公開している情報は、MAGNIA シリーズ上における Linux の動作を保証するものではありませんのであらかじめご了承ください。
※ [MAGNIA Linux 動作確認情報]の情報による Linux のご利用は、お客様の責任のもとでお願いいたします。
※ Linux のアップデートモジュールは、Red Hat カスタマポータルより入手してください。

本サービスには、東芝デジタルソリューションズ株式会社による技術サポートは含まれておりません。ソフトウェアに関するお問い合わせは、ディストリビューターまでご連絡ください。

Linux サブスクリプションサービスのライセンス

Linux サブスクリプションサービスでは、下記の3つのサブスクリプションを提供します。

- ①RHEL Server サブスクリプション
- ②RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション
- ③RHEL with Smart Virtualization サブスクリプション

3つのサブスクリプションに加え、サブスクリプションの期間、及び、サポートサービスレベルにより、サービスの形番が分かれています。

サブスクリプションの期間： 1年、または、5年
サポートサービスレベル： Standard、または、Premium
Standard：平日 9：00-17：00でのサポートの提供を実施します。
Premium：24時間/365日サポートを提供します。また、EUS（マイナーリリースの延長サポート）が付いています。

注意

※サブスクリプション期間を満了すると Red Hat 社のサポートサービスが受けられなくなります。Red Hat Enterprise Linux を継続して使用する場合は、Red Hat 社のサポートサービスを受けるために、再度、本製品を購入してください。

基本となる3つのサブスクリプションが提供するライセンスの詳細を下記に記載します。

1.RHEL Server サブスクリプション

1ソケットペア(2つの物理プロセッサ環境)、または、2つの仮想インスタンス用のライセンスを提供します。

①物理環境で使用する場合

MAGNIA の物理環境で Red Hat Enterprise Linux を使用する場合、本製品が1つ必要となります。

②仮想環境で使用する場合

- 物理環境にて Red Hat Enterprise Linux を使用する場合、物理環境用に本製品が1つ必要となります。ただし、VMware、または、Hyper-V を使用する場合は必要ありません。
- 仮想環境では、2つの仮想インスタス毎に本製品が1つ必要となります。

注意

※Red Hat Enterprise Linux に標準に同梱されています KVM を使用して仮想環境を構築した場合、仮想環境用のインスタンスは4つまでに制限されています。KVM を使用した仮想環境用に本サブスクリプションを購入する場合、サブスクリプションは2つまで(物理環境を含めると3つまで)になりますので注意してください。

2. RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション

1ソケットペア(2つの物理プロセッサ環境)毎に、無制限の仮想インスタンス用のライセンスを提供します。

本製品には、物理環境用のライセンスはありません。物理環境用のライセンスが必要な場合は、RHEL Server サブスクリプションを購入してください。なお、VMware、または、Hyper-V 環境でゲスト環境として使用する場合は、物理環境用のサブスクリプションは必要ありませんので、本製品のみ購入してください。

注意

※Red Hat Enterprise Linux に標準に同梱されています KVM を使用して仮想環境を構築した場合、仮想環境用のインスタンスは4つまでに制限されています。KVM を使用した仮想環境用に本サブスクリプションを購入しても4つまでしかインスタンスを作成できませんので注意してください。Red Hat Enterprise Linux を物理環境にして、5インスタンス以上の仮想環境を構築する場合は、Red Hat Enterprise Virtualization の物理環境用のライセンスを提供している RHEL with Smart Virtualization を購入してください。なお、Vmware、及び、Hyper-V の仮想環境では本制限はありません。

3. RHEL with Smart Virtualization サブスクリプション

1ソケットペア(2つの物理プロセッサ環境)毎に、無制限の仮想インスタンスのライセンスを提供します。
また、1ソケットペアごとに Red Hat Enterprise Virtualization ハイパーバイザーの物理環境のライセンスを提供します。

以上